

令和4年度第1回埼玉県南西部地域医療構想調整会議
議事録

1 日 時

令和4年7月22日（金）19:00～21:00

2 場 所

オンライン（ZOOM）

3 出席者

【委員】17名、代理1名

井上達夫委員（会長）、滝澤義和委員（副会長）、須田勝行委員、畑中典子委員、飯田惣
授委員、鈴木義隆委員、菅野隆委員、富家隆樹委員、佐藤千春委員、片桐雅也委員、増
尾猛委員、平野静香委員、大熊克之委員、皆川恒晴委員、鈴木貴久委員、池田康幸委員、
湯尾明委員、原彰男委員（代理出席）

【アドバイザー】

埼玉県医師会廣澤信作副会長

【事務局】

保健医療政策課職員、医療整備課職員、朝霞保健所職員

【説明者】

病床整備医療機関（2機関）

【傍聴人】

6名

4 議事

(1) 会長、副会長の選出について

井上委員を会長、滝澤委員を副会長と決定した。

(2) 令和4年度地域医療構想調整会議について【資料1】

通番5に基づき、保健医療政策課が説明した。

(3) 公立・公的・民間医療機関における対応方針の策定・検証・見直しについて【資料2】

通番6～通番13に基づき、保健医療政策課が説明した。

5 報告

(1) 埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画について【資料3】

ア 第7次地域保健医療計画の変更に基づく病床整備計画の公募について

通番14～通番16に基づき、医療整備課が説明した。

イ 埼玉県地域保健医療計画に基づく病床整備の進捗状況について

通番 17 に基づき、医療整備課が説明した。

(質疑)

Q (委員) : 募集対象である、不足が推計される医療機能を担う病床について、数値を確認できる場所があれば教えて欲しい。

A (事務局) : 埼玉県の公募に関するホームページにおいて、令和2年度と令和元年度の病床機能報告のデータが掲載されており、どの医療機能が不足しているか確認が可能である。

(2) 外来機能報告に基づく紹介受診重点医療機関の明確化について

通番 18～通番 36 に基づき、保健医療政策課が説明した。

(3) 第7次埼玉県地域保健医療計画南西部保健医療圏重点取組進捗状況について【資料5】

通番 37 に基づき、朝霞保健所が説明した。

(4) 第6次及び第7次計画公募により病床を整備した医療機関からの報告

(非公開の為傍聴人は退出)

イムス富士見総合病院から報告。

和光リハビリテーション病院から報告。

○アドバイザーからの意見

病床整備も南西部では順調に進んでいるということである。今回も公募病床が65床ということで、不足病床等を県のホームページを参照していただければと思う。

また、今回外来機能報告ということで、紹介受診重点医療機関の明確化とあった。主に地域支援病院等が対象だが、これについても今後さらに議論していただければと思う。

南西部は再検証対象医療機関がなく、公立医療機関もなく、公的医療機関は埼玉病院ということである。再検証対象医療機関は、全国では対象のうち半分ほど再検証結果報告が出ているが、必ずしも病床を減らす、統合するのではなく、色々あっても地域の住民からの要望が強いということで現状通りということもありうるそうである。今後も持続可能な地域医療の提供体制ということから、さらに議論をしていただきたいと思います。

今回は、報告事項も多かった。今後も活発な議論をしていただければと思う。

5 閉会